

古文  
③ 古典の基本問題

春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、すこし明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり。闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど飛びいそぐさへあはれなり。

まいて雁などの連ねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入りはてて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるは、言ふべきにもあらず。霜のいと白きも。またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭持てわたるも、いとつきづきし。

昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶けの火も、白き灰がちになりて、わろし。

『枕草子』

(一) 基本問題①

① ( ) ( ) に適当な語句を入れなさい。  
『枕草子』は ( ) (時代の中期に、) ( ) によって執筆された ( ) ( ) である。

② 「あけぼの」の意味を次の中から選びなさい。( )  
(ア) 陽の光 (イ) 夕焼け (ウ) 明け方

③ 「やうやう」を現代仮名遣いに直しなさい。  
( ) ( )

④ 「やうやう」の意味を次の中から選びなさい。( )  
(ア) やっと (イ) だんだんと (ウ) すぐに

⑤ 「山ぎは」の意味と対になる言葉を本文から書き抜きなさい。  
意味 ( )

対になる言葉 ( )

- ⑥ 「さらなり」の意味として適切なものを次から選びなさい。( )  
(ア)ますますそうだ (イ)言うまでもない (ウ)違うようだ

- ⑦ 「間もなほ」と感じている理由を答えなさい。  
( )

- ⑧ 「夏は夜」について、趣があるものとして書かれているものを三つ答えなさい。  
( )  
( )  
( )

(2) 基本問題②

- ① 「あはれなり」の意味を答えなさい。  
( )

- ② 「まいて」を現代仮名遣いに直しなさい。  
( )

- ③ 「いと」の意味を答えなさい。  
( )

- ④ 秋は夕暮れの段落を二つに分けるとしたら後半はどこからか。④  
( )

- ⑤ 秋は夕暮れを二つに分けた前半と後半はそれぞれ視覚的表現と聴覚的表現どちらが使われているか。  
前半) ( ) 後半) ( )

- ⑥ 「つとめて」の意味を答えなさい。また、「つとめて」と「あけぼの」とどちらが早い時間か。  
つとめて) ( )  
早い時間) ( )

- ⑦ 「つぎつぎし」は似つかわしいという意味だが、何と似つかわしいのか答えなさい。  
( )

⑧ 「ぬるくゆるびもていけば」「何が、ぬるくゆるびもていくのか。答えなさい。」

⑨ 「わろし」は何が良くないと言っているのか。説明しなさい。



がっこのおとち

中学生 問題集